

2025年度

研究助成等の募集 について

制度案内、書類作成例

助成事業概要（１）

▶ 申請資格

横浜市内の大学及び研究機関で研究に従事する者（大学院生を含む）

▶ 助成対象

（１）人文社会科学、自然科学、医学の3分野における
個人研究が原則

（２）申請者多数の場合は、3区分（研究、出版、渡航費）のうち同一の助成区分で**過去2年以内に助成を受けた方は、その区分での審査の対象外**とすることがあります。（助成区分が異なる場合は申請が可能）

（３）同一年度で研究助成、出版刊行助成、海外渡航費助成の重複申請は受けません。
いずれかひとつを選び申請してください。

助成事業概要（2）

▶ 助成対象期間

2025年4月1日から2026年3月31日までの1年間



2025/4/1からの費用をカバーします。

▶ 助成金総額 **1,000万円**

（研究助成： 700万円、1件当たりの上限 50万円）

※大学院生 1件当たりの上限 20万円

（出版刊行助成： 100万円、1件当たりの上限 50万円）

（海外渡航費助成： 200万円、1件当たりの上限 20万円）

※大学院生 1件当たりの上限 20万円

【海外渡航費助成上限額】

＜渡航エリア＞	＜一般＞	＜大学院生＞
ヨーロッパ・アフリカ・南米	200,000	100,000
北アメリカ・オセアニア	150,000	70,000
アジア(韓国、台湾を除く)	70,000	70,000
韓国・台湾	50,000	50,000

2024年度に増額しました

助成事業概要（3）

▶ 助成基準

1) 研究助成

次の各号※のいずれかに該当する国際的、学際的な研究活動で、
1年程度で一定の成果を得られる活動

<※社会的要請・先駆的・独創的研究・神奈川県または横浜市に関する研究>

2) 出版刊行助成（研究助成の成果を公表）

<※ 6/16現在、**原稿が完成**していること>

3) 海外渡航費助成

次の各号のいずれかに該当する研究者の海外派遣に対して渡航費を助成
ア、国際学術会議で発表する場合

イ、大学又は研究機関が出張扱いとする派遣の場合

ウ、選考委員会が、学術教育の振興に寄与する派遣と認めた場合

助成事業概要（４）

▶ 選考方法

選考は財団委嘱の選考委員10名による選考委員会において**所定の申請書類（書面）**により行います（定款により、最終決定は財団理事会が行います。）

▶ 書面とは？

（１）申請書 （２）推薦書 （３）その他指定の書類

推薦書の様式が
指定となりました
（要厳封）

1）研究助成	・ 研究助成申請書	・ 推薦書 （各1部）
2）出版刊行助成	・ 出版刊行助成申請書 ・ 完全原稿のコピー ・ 推薦書	・ 出版物の見積書 ・ 要旨（1,200字程度） （各1部）
3）海外渡航費助成	・ 海外渡航費助成申請書	・ 参加プログラム等 （各1部）

発表でプログラムが未定の場合は、参加確定メールのコピー等を提出
→受給時までにプログラム提出
調査の場合は、「調査計画書」を提出

▶ 申請書の書き方（１）

研究助成 p1-1

《2025年度》

公益財団法人横浜学術教育振興財団 研究助成申請書

記載上の注意入り

公益財団法人横浜学術教育振興財団

理事長 大

2025年 6 月 3日

記入が必要なシートは4枚あります。
それぞれ1枚で印刷できるように調整してください。
また、最終ページの注意事項をよく読んで申請してください。

1. 氏名・研

(フリガナ)	ガクジュツ キョウコ					
氏 名	学術 教子					
生年月日	(西暦) 1997年 5月 6日生			満 34 歳 (2025年6月1日現在)		
現 住 所	〒123-4567 横浜市金沢区泥亀123			TEL	045-567-8901	
				e-mail	kgakujutu@kanakoku.ac.jp	
所属機関	所在地	横浜市金沢区六浦123				
	機関名・所属	神奈川国際大学生命科学研究所				
	役職名	研究員	本拠校がある 場合はその本 拠先			
最終学歴	横浜大学大学院理学研究科博士後期課程修了				大学名から記入してください	
申請金額	¥ 500,000 (千円未満切捨て) ※上限50万円					
研究テーマ	植物光合成の細胞変異			一般研究者と大学院生で申請書と助成上限 額が異なります。 確認した上で申請書を作成してください。		
希望の審査 分野	ひとつ選択して 左側の空欄に○ をつけてくださ い		人文社会科学	○	自然科学	医学
助成基準から みた研究内容	申請の研究テーマに ついて当てはまる項 目に○をつけてくださ い (複数選択可、記載は 任意)	○ ○	社会的要請の強い研究活動 先駆的・独創的研究活動 神奈川県または横浜市に関する研究活動			
その他の助成 の有無	助成金額 500,000円	助成機関名・資金の名称 生物理科学研究助成財団				
研究実績	・このページ内に入るよう、申請テーマに関する主要な実績についてまとめてください。 学術響子・神奈川大「植物細胞のDNA構造変化」『科学ジャーナル』vol.456, 2024. 学術響子「植物細胞の微小幹細胞と光合成」『サイエンスジャパン』vol.89, 2022. Gakujutu Kyouro 2020. Photosynthetically-induced mutations in plant cells. Jonal of Sience Plant, vol. 78.					

次ページで説明

▶ 申請書の書き方（２）

研究助成 p1-2

＜研究実績の記載例＞
（出版刊行助成、海外渡航助成も同じ）

- ▶ 次のような内容について、申請者本人の実績を箇条書きで記載してください。
- ▶ ①論文：学術誌原著論文等
- ②学会発表：学会発表・口頭発表等
- ③総説：学術誌の解説、講座等
- ④著書：著書・編著
- ⑤外部資金の獲得状況
- ⑥その他：特許、刊行物等
- ▶ 博士前期課程の場合は、卒業論文でも可

※ 申請書作成に関するQ&A より



記載欄に書ききれない場合は、申請した研究に関連性が高いものから順に書いてください。

▶ 申請書の書き方（3）

研究助成 p2

「2.研究目的、3.研究構想」

2. 研究目的

審査の際、この申請書はモノクロ印刷となります。
図表作成の際はご注意ください。
Wordで作成した文章を貼り付ける場合、すべてのセルを結合してから添付してください。その際、印刷範囲からはみ出ないようにご注意ください。

3. 研究構想：具体的な研究内容とその進め方

(各研究分野で定められている研究に関する倫理指針等がある場合は、それらのガイドラインをもとに、倫理的配慮について記載してください。)

審査の際、この申請書はモノクロ印刷となります。
図表作成の際はご注意ください。
Wordで作成した文章を貼り付ける場合、すべてのセルを結合してから添付してください。その際、印刷範囲からはみ出ないようにご注意ください。

「医学」分野の方は、ご確認の上、必ずご記入ください。
「医学」「以外」を選んだ方で、このスペースを拡げたい方は、下の欄を削除していただいて結構です

8

審査分野を「医学」とした方のみ、研究倫理審査委員会等での承認の必要性の有無についてご回答ください。

(該当する項目にレ点を付けてください。)

☐

有

☐

無

申請書の書き方（４）

研究助成 p3 「4.研究意義、5.使途内訳」

4. 研究意義：期待される効果及び背景

審査の際、この申請書はモノクロ印刷となります。
図表作成の際はご注意ください。
Wordで作成した文章を貼り付ける場合、すべてのセルを結合してから添付してください。その際、印刷範囲からはみ出ないようにご注意ください。

5. 研究助成金使途内訳

1.実験材料等消耗品費（書籍含む）、旅費、通信運搬費、謝金等に分け、できれば数量・単価等を示し具体的に記載してください。**助成対象となる使途は、直接経費のみです。**なお、助成金を事務用パソコン、机などの備品購入に充てることはできません。（ただし、税込単価が100,000円未満の物品は備品とはみなしません。）

2.海外渡航費（航空運賃等）が相当なウェイトを占める場合は研究助成の対象としない場合があります。

【記載例】

〇〇試薬	250,000
〇〇機器	140,000
××学会参加費	5,000
××学会交通費	5,000
論文英訳費用	100,000
合計	500,000

重要！使途変更の場合は「使途変更届」を提出の上、常務理事の認可が必要

レイアウトの変更はせず、シート（1）からシート（3）までをそれぞれ1ページにまとめてください

申請書の書き方（４）

研究助成 p4

「6. 申請者連絡先等」

6. 申請者連絡先等（このページに記載していただいた内容は審査には使用しません。）

申請者氏名	(お手数ですがお名前をもう一度記入してください) 学術 教子		
研究分野	(ご自身の専門分野について自由に記載してください) 植物学、遺伝子情報		
電話連絡先 (日中の連絡先)	↓優先順位（左の枠に番号で優先順位を入れてください）		
	2	所属機関	045(777)8888 (内線 1234)
		自宅等	(どちらかを選び○をつけてください。)
	1		1ページ目の現住所（自宅）欄に記載した番号と同じ
	2		その他の番号
	1	携帯電話	(差し支えなければお知らせください。選考委員会開催時に使用する場合があります。) 090-456-7890
メール	メインのアドレス	○	1 1ページ目の現住所欄のアドレスと同じ
			2 (メアド記載)
	携帯メール等		(他のメールアドレスへの送信も希望される場合のみ記載してください)
書類郵送先	郵送先 1		2024年8月上旬の決定通知送付先(空欄に○をつけてください。)
		1	1ページ目に記載した現住所（自宅）と同じ
		○ 2	勤務先等（大学の研究室名等も忘れずに記載してください。横浜市大の場合は住所の記載不要、研究室名のみで結構です） 〒123-2345 横浜市金沢区六浦123神奈川国際大学生命科学研究所
	郵送先 2		2025年10月の「成果報告書」発送先（空欄に○をつけてください。)
		1	1ページ目に記載した現住所（自宅）と同じ
		2	(送付先住所を記載してください。) 〒
推薦者名	所属・職名	神奈川国際大学 生命科学研究所所長	
	氏 名	関東 大二郎	

審査の際、推薦書が必要となります。
推薦者の所属・職名及びご氏名を記入してください。

▶ 申請書の書き方（５）

出版刊行助成 p1

《2025年度》

公益財団法人横浜学術教育振興財団

出版刊行助成申請書

記載上の注意入り

公益財団法人横浜学術教育振興財団

理事長 大久保 孝

記入が必要なシートは3枚あります。

それぞれ1枚で印刷できるように調整してください。

また、最終ページの注意事項をよく読んで申請してください。

2025年 6月 1日

1. 氏名・書名、研究テーマ等

(フリガナ)	シンコウ ザイブウ			
氏 名	振興 財三			
生年月日	(西暦) 1971年 9月 9日生		満 53 歳 (2025年6月1日現在)	
現 住 所	〒234-5678		TEL	045-987-6543
	横浜市神奈川区三ツ沢上町89		e-mail	zshinkou@kantonal.ac.jp
所属機関	所在地	横浜市保土ヶ谷区常盤台56		
	機関名・所属	関東国立大学商学部経営学科		
	役職名	教授	本務校がある場合は	
最終学歴	横浜大学大学院経営学研究科博士後期課程修了			
申請金額	¥ 500,000 (千円未満切捨て) (参考: 見積書の総額¥1,000,000)			
書 名	(出版物の言語は、日本語または英語に限ります。) 国際会計基準の変遷と企業会計			
発行予定日	(西暦) 2025 年 12月 15 日 (最終は2026年3月31日まで)			
出版物の区分	(どちらかに○印をつけてください。)	学位論文	○	それ以外の研究書
その他の助成の有無	金額 なし 円	助成機関名・資金の名称		
研究実績	・このページ内に入るよう、申請テーマに関する主要な実績についてまとめてください。 振興財三「IASBの変遷」『会計情報』第67号, 2024。 振興財三「IASBと企業会計基準」『経理ジャーナル』第52号, 2022。 振興財三「IFRS任意適用企業の業績比較」『企業会計』第50号, 2021。			

「研究実績」の記載については研究助成の例 (p. 7) をご参考ください

申請書の書き方 (6)

海外渡航助成 p 1

《2025年度》

公益財団法人横浜学術教育振興財団
海外渡航費助成申請書

記載上の注意入り

2025年 6月 7日

公益
理

記入が必要なシートは3枚あります。
それぞれ印刷した時に1枚になるよう調整してください。
こちらは「海外渡航」に関する費用のみ助成対象です。宿泊費やオンラインで開か
れる学会の参加費、登録料などの申請はできませんのでご注意ください。

1. 氏名・発表テーマ等

(フリガナ) 氏 名	ヨコハマ イチロウ 横浜 市郎			
生年月日	(西暦) 2000 年 1月 1日生		満 24 歳 (2025年6月1日現在)	
現 住 所	〒123-456 横浜市金沢区瀬戸1-2		TEL	045-1234-5678
			e-mail	yokohamaichi@gmail.com
所属機関	所 在 地	横浜市金沢区瀬戸123		
	所 属 機 関 名	横浜大学		
	所 属	国際科学部		
	役職名	講師	本務校がある場合はその本務先	
最終学歴	横浜国際大学大学院国際研究科博士後期課程			大学名も記入してください
申請金額	(渡航先及び大学院生か否かにより上限額が設けられています。詳細：最終ページ注意事項) ¥ 200,000 (千円未満切捨て)			
テーマ 空欄のどちらかに○印	○	発表テーマ	(こちらにテーマを記載) International gap in Japanese society. (日本社会における国際的ギャップ)	
		調査テーマ		
その他の助成の有無	助成金額 円 なし		助成機関名・資金の 一般研究者と院生で申請書と助成額が異なります。最終ページの注意事項を確認してください。また、航空運賃が、助成限度額より低い(安い)場合は、その金額で申請してください。	
研究実績	・このページ内に入るよう、申請テーマに関する主要な実績について 1. 査読付き論文 横浜市郎「国際社会のひずみと原点」横浜大学論集第50号, 2024 横浜市郎、関東マナブ「パンデミック後の国際貿易の変革」国際ジャーナルvol.12, 2023. 2. 学会発表 Ichoro Yokohama "International Pndemic Shock." The 12th International Society			

「研究実績」の記載については研究助成の例 (p. 7) をご参考ください

申請書の書き方（7）

海外渡航助成 p2

2. 会義・調査等の概要

会議・調査名 (和名がない場合でも適宜日本語に訳して記載してください。)	(会議名) The 13th International society conference			
	(和名) 第13回国際社会学会			
主催団体	International Society Association (国際社会学会)			
開催期間	2025年8月23日～25日			
開催地	国名	ドイツ	都市名	ベルリン
開催規模	参加国数	約30カ国	参加者数	1000名
会議・調査の目的	国際社会における問題点の提示と今後の展開を特に日本に関して研究することを目的として、口頭による学会発表を行う。			
主な参加者の氏名・所属・国籍等	Prof. John Smith, University of Canada 東京次朗, 東大学大学院教授			
過去の開催状況	開催年度 2024		開催地 カナダ	
本会議・調査参加により期待される効果	開催時期との関係で「参加プログラム」の提出が難しい場合は、参加が確認できる主催者とのメールなどを“参考”として添付してください。 受給決定後、助成金の請求までに改めてプログラムを提出してください。			
※ 海外での活動内容がわかる 参加プログラム等の資料 を添付して申請してください。 なお、資料の該当箇所(氏名、発表日、テーマなど)を ハイライトで表示 してください。				
※ 併願をしていないことの確認	☒ (併願がなければ左の□に✓をいれてください。)			

3. 渡航費用

出発地	成田
到着地	ドイツ ベルリン空港
航空運賃 (空港使用料含む)	(旅行会社などに照会し実際に必要と見込まれる金額を記載してください。) ¥ <u>230,000</u> —

▶ 推薦書見本（１）

研究助成もしくは出版刊行助成

《2025年度》

推薦書

2025年 月 日

公益財団法人横浜学術教育振興財団

理事長 大久保 千行 殿

推薦者

所属機関名

役職名

氏名

印

下記の者は、貴財団の助成を受けるにあたり 以下の理由によりふさわしいと認めますので、推薦いたします。

（フリガナ） 氏 名		
所属機関	機関名	
	役職名	
研究テーマ/書 名		

推薦理由 【これまでの研究状況、期待される研究成果、本人の人間性をご記入ください。】

1. 候補者名・所属
2. 研究テーマもしくは書名
3. 推薦理由

- (1) 業績
- (2) 現在の研究状況
- (3) 今後の展望
- (4) 本人の人間性
- (5) 地域への貢献

※推薦者の連絡先もご記入ください。
必要に応じてご連絡することがあります。

推薦者連絡先

電話番号

()

*空欄決定後にご連絡する場合があります

mail

@

▶ 推薦書見本（２）

研究助成もしくは出版刊行助成

推 薦 書

公益財団法人横浜学術教育振興財団

理事長 大久保 千 行 殿

1. 被推薦者氏名

(フリガナ) 氏 名	
---------------	--

2. 推薦理由

1. 推薦理由

- (1) 業績
- (2) 現在の研究状況
- (3) 今後の展望
- (4) 本人の人柄
- (5) 地域への貢献

「上記の理由から推薦します」の記載等

年 月 日

※推薦者の連絡先を記入してください。必要に応じてご連絡する場合があります。

推薦者

所属機関名

役職名

氏 名

電話番号

e-mail

() 15

@

印

*必要に応じてご連絡する場合があります

➡ 見積書見本
出版刊行助成

見 積 書

2023 年 5 月 25 日

様

〒 株式会社 出版
代表取締役
TEL

下記の通り 御見積り申し上げます。

総 額 1,520,000円

【件名】『 A 5 判上製本 320 頁＋口絵 4 頁 1000 部

書 名			金額 (円)
組版費			
製版・印刷費			
用紙材料費			
製本加工費			
原稿整理・編集・校正費			
小 計			
消費税(10%)			
総 計			1,520,000円

▶ 海外渡航費/渡航証拠書類

国際学会参加に関するメールの例

11th Interdisciplinary World Congress on Low Back & Pelvic Girdle Pain

1 - 4 November 2023

Melbourne Convention and Exhibition Centre



www.worldcongresslbp.com



Dear [REDACTED]

First and foremost, we would like to thank you for having submitted an abstract for the **11th Interdisciplinary World Congress on Low Back & Pelvic Girdle Pain**, taking place in Melbourne, Australia on 1 - 4 November 2023.

Your abstract entitled:

[REDACTED]

has been reviewed by the Scientific Committee.

We have received many high quality abstracts for the congress and we are happy to inform you that your paper has been selected as an **Oral Poster Presentation**.

Poster Presentations will take place during the lunch break on an allocated day and will be moderated by a member of the Scientific Committee. The time allocated for an **oral poster presentation is 2 minutes**. During this time, you will have the chance to answer any questions from your colleagues. *The Scientific Committee will be appointing an award for the two best posters.*

The format of the posters should be: 90 cm wide x 120 cm high (= portrait position). This is approximately 'A0' size. You will receive further detailed instructions on how to proceed in preparing your poster and your allocated day at a later stage.

Adhesive material will be available on-site.

Registration

All presenters are required to register before June 1st. If you have not registered before that time we will assume you will not be able to present your paper in Melbourne and your contribution will be removed from the program.

Information on registration and accommodation is available on www.worldcongresslbp.com and www.worldcongresslbp.com/registration

▶ 提出方法

- (1) メールへの添付で
- (2) 横浜市立大学・学内メールシステム
(Information, Box # 37)
- (3) 財団事務室へ持参 (外出中の場合あり)

※事務室スケジュール

<http://yokogaku.com/2019/05/03/office-calendar/>

(ファクスでの受付はいたしません。)

▶ 申請書提出後のスケジュール

- ◆ 申請書受付：**5月8日(木)～6月16日(月) 厳守**
- ◆ 選考委員会：7月下旬
- ◆ 受給者発表：8月上旬に 選考結果通知を発送します。

◆ 助成金支給

(1) 研究助成：助成金を9月上旬に一括支給します。

①8月中旬助成金請求書兼誓約書等提出

②12月20日までに経過報告書提出

③翌年6月末日までに成果報告書及び精算書提出

(2) 海外渡航費で採択された方には渡航終了後に支給します。

※申請時に参加プログラムの提出がない場合は、助成金請求時に提出してください。

(3) 出版刊行助成については書籍発行後支給します。

※出版社に直接振込みますので、出版社から当財団宛ての請求書を発行してください。

申請書送付先、お問い合わせ先

横浜学術教育振興財団事務局（担当：小清水 千絵）

電 話：045-787-2396

月・木・金 9:30-17:30 (12:00-13:00 休憩)

メール：yokogaku@hamakko.or.jp

Web: <http://yokogaku.com/>